

株主の皆様とNTTを結ぶ

証券コード:9432

# NTTís...

2012 春

この絵には漢字1文字が隠れています。  
答えは14ページにあります。





代表取締役副社長  
宇治 則孝

NTTグループの技術戦略を統括する宇治副社長に、情報通信技術 (ICT\*1) による社会的課題に対する取り組みなどを含め、サービス創造に向けた今後のNTTグループの研究開発 (R&D) 戦略について聞きました。

**Q** 昨今の情報通信を取り巻く環境の変化についてどのようにお考えですか。

**A** 近年大きく進展したクラウドに象徴されるように、「持つ」から「使う」というような大きな変化、パラダイムシフトが起きています。また、スマートフォンやタブレット端末の展開も注目すべきですし、ICTと他分野・他領域が連携・融合することで、サービスの融合が進み、新しいサービスがどんどん出てきています。今後は情報通信の社会的役割がますます大きくなっていくでしょう。

\*1 ICT  
Information and Communication Technologyのこと。コンピュータによる情報通信に関するハードやソフト、システムやデータ通信などに使われる技術の総称。

**Q** そういった変化を踏まえ、これからのサービス創造に向けた戦略をお聞かせください。

**A** まずはクラウドですね。クラウドとは英語で「雲」のことですが、ネットワークを表現した言葉なのです。先ほど「持つ」から「使う」というお話をしましたが、お客様から見るとサーバなどのハードウェアやソフトウェアを購入しなくても、様々なサービスがネットワークを経由して好きな時に好きなだけ利用できるというものです。NTTグループでは各社が特徴と強みを活かしつつ、いろいろと連携して取り組んでいます。

**Q** 具体的にはどのような取り組みですか。

**A** 現在NTTグループでは、これまで主に取り組んできた企業向けのクラウドだけではなく、震災を契機にさらに重要性が増大している公共分野でのクラウド活用を推進しています。例えば、行政分野では、複数の市町村にまたがって業務の効率化などを推進する自治体クラウドや、行政サービスの利便性向上を目指した行政クラウドを推進しています。医療分野では、2008年から岩手県遠野市などで導入を進めていた遠隔健康相談サービスを、昨年秋から「ひかり健康相談」というクラウド型サービスで展開しています。教育分野では、昨年春から全国10校の小中学校で、教育クラウ

ドを使ったデジタル教材の提供や、タブレット端末を利用した授業を実施しています。

また、これまで活用できていなかった「ビッグデータ」と呼ばれるインターネットの検索履歴や、ソーシャルネットワークサービス (SNS) に投稿されたデータ、様々な機器やセンサから収集されたデータなどの巨大な情報を、クラウドを利用することにより安価にそして高速に分析をすることが可能になり、これにより新たな価値を生み出していきたいと考えています。例えば、携帯電話が基地局とやりとりをしている位置情報データを解析することで、震災の時に人々がどのような行動をとったのかを把握し、防災計画に役立てることができます。これはほんの一例で、様々な分野における活用など、新たな価値創造の可能性も計り知れません。

**Q** クラウドがNTTグループの中で重要な役割を担っていきそうですね。環境やエネルギーの分野での取り組みについても伺えますか。

**A** ご存じのとおり、震災により電力不足問題が発生し、社会的課題の1つとなっています。事業運営に多くの電力を使用する情報通信事業者の社会的責任として、自らの消費電力削減とともに、ICTの利活用による社会全体での省エネルギー化を進め、環境負荷低減につなげていきます。



## Q 今後どのような取り組みを進められるのですか。

A 例えば、家庭、マンション、オフィスなどでの消費電力量の削減を目指した「電力の見える化」サービスや、電気自動車のカーシェアリングサービス、太陽光発電システムの構築・運用を行うメガソーラーソリューションなど、NTTグループ各社の強みを活かした取り組みを進めています。今後は、これらのサービスに必要な機器を“つなぎ”“コントロール”するためのネットワーク基盤やクラウド基盤の研究開



発を行っていきます。また、ICTとエネルギー分野の相乗効果により、安心・安全な新しいコミュニティの実現に貢献していきます。例えば、宮城県仙台市で計画される環境まちづくり事業に構想段階からNTTグループも参画しており、ICTを活用した環境負荷の少ない街づくりと被災地の復興を支援していきます。

## Q スマートフォンやタブレット端末の利用が急速に増加していますが、どのようにお考えでしょうか。

A モバイル端末の広がりにより、私たちは時間や場所の制約を受けることなく、いつでもネットワークにつながる事が可能になります。先ほどお話をした企業や公共分野でのクラウドの利用シーンが拡大しますし、家庭内でも様々なサービスがキッチンやリビングなどでも利用できるようになります。例えば、「電力の見える化」サービスの利用によって、外出先からの家電コントロールや、電気の利用状況をリアルタイムに監視することにより電気代の節約につなげることができたり、医療や介護も在宅での遠隔サービスを受けることができるようになります。また最近では、光回線で提供していた映像サービスをモバイル端末でも見るできるようになりました。加えて、家族の絆を深めるため、ご家庭の大画面テレビと高品質な映像・通信を組み合わせ、離れた家族があたかも同じリビングにいるような臨場感あふれるサービスの開発も今後進めていきます。

## Q 代表的な取り組みがあればお聞かせください。

A 先ほどお話をさせて頂いたサービスを提供するには、固定通信・移動通信を意識させない「ネットワークサービスのシームレス化」が重要です。そのため、屋内では高速な光回線に接続した無線LAN (Wi-Fi<sup>\*2</sup>) を利用し、屋外ではモバイル網や公衆無線LAN (Wi-Fiスポット) を利用するといったサービス環境の整備を加速していきます。特にWi-Fiスポットについては、交通機関のほか、街のコンビニや商業施設との提携などを通じて設置を拡大しています。遠隔医療に関しては、在宅医療、在宅介護の動きが進むなかで、自治体、病院、介護施設、患者宅をネットワークで結び、患者の血圧をはじめとした健康データをモバイル端末などを通じて収集し、過去の診療履歴や服薬履歴などを参照しながら診療活動を行う実証実験(トライアル)を開始しています。

## Q 最後に今後の研究開発についての抱負をお聞かせください。

A 世の中の変化にタイムリーに対応することは言葉で表現するほど容易なことではありません。NTTのR&Dにおいても、この状況に対応するための改革が必要です。特に今後は「ソフト化」「スピード化」「グローバル化」をキーワードに展開していき

いと思っています。

「ソフト化」については、広がる事業領域に対して、ソフトウェア技術によりサービス開発を加速させるとともに、品質やセキュリティの向上を進めたいと考えています。現在は複数の研究所や組織に分散されている情報処理技術やセキュリティ技術に関するR&D組織を集約し、ソフトウェアイノベーションやセキュリティの研究開発を強化します。「スピード化」については、世界の変革スピードに負けず、サービス開発を加速させ、市場ニーズにタイムリーに対応したいと考えています。「グローバル化」については、海外での事業売上向上を目指すだけでなく、海外市場や技術の動向にアンテナを高くし、グローバル目線でサービス開発することも意味します。例えば、新しいサービスが次々と生み出されているアメリカ西海岸において、研究開発を行える環境を整備していきます。

最後にNTTドコモの通信障害については、昨年来の数度にわたる障害で、お客様や関係者の方々に大変ご迷惑をおかけしました。当面の対処策はもちろん、スマートフォンの爆発的な普及にも即応できるようチェックを行い、このような事故が起きないよう今後の対策を講じていきます。また、震災での経験を踏まえ、NTTグループは、これからも固定通信・移動通信の両面で、災害に強く安心・安全なネットワークの構築とサービスの開発・提供を行っていきます。

\*2 Wi-Fi 無線LAN機器間の相互接続性を認証されたことを示すブランド名。Wi-Fi Allianceの登録商標。ここでは、Wi-Fiによる無線LAN環境のことを指す。

NTTグループでは、情報通信技術 (ICT<sup>\*1</sup>) の利活用の機会拡大に向けて取り組みを強化しております。ここではその一環として、「研究開発」に関する取り組みについてご紹介します。

ある日…

お見舞いに出かけるよ〜

ちょっと待って〜

おじいちゃんに見せる映画をいくつかダウンロードしていたの?

NTTが、無線通信で3秒間に15ギガビットのデータを伝送する装置を開発したって知っている? まだ装置はスマホくらいの大きさだけどね。

約12cm X 6cm

そうか。映像ファイルはダウンロードに時間がかかるよね。

それってDVD1枚分のデータが3秒で転送できるってことよね?

この装置はまだまだ小型化できる余地がある。例えば近い将来、駅やコンビニの情報端末にタブレット端末をかざせばすぐに大容量データが取得できるようになるかもね。

実験として、この装置を市販のパソコンにつないで、大容量の映像ファイルの高速ダウンロードに成功しているんだ!

映画とか音楽が、ワンタッチで取得できたらすごく便利!

\*1 Information and Communication Technologyのこと。コンピュータによる情報通信に関するハードやソフト、システムやデータ通信などに使われる技術の総称。

それにしてもネットはどんどん便利になっていくよね。

私はフェイスブック\*2で日記とか写真とかを載せているよ。友達がいろいろコメントしてくれるし、趣味を紹介しあったりできるし。

今ではみんながネットにいろいろ情報を持ち寄ったり、それを閲覧したり、コメントしたりするよね。こういったやりとりの内容や履歴が全てデータとしてネット上には大量にたまっているんだよ。

こういう大量なデータを「ビッグデータ」っていうんだけど、中には数値化できないデータもあるんだよね。こういうデータをいかに分析して新しいビジネスやサービスに結びつけるかが、注目されているんだ。

サーバの技術だね。多くのサーバを使ってデータを分散処理する技術が進歩したことによってより低コストでこのような処理が行えるようになったんだ。

どうして今注目されているの?

みんなが使えればいいサービスができるね。

クラウドです!

そうかもしれないね。ただ、ネットワーク上のデータは刻々と積み重なっている。データを一定期間ためてから処理をする現行の技術では、チャンスを失っているかもしれない。

これに対して、NTTはデータを取得しながら、すぐに処理・分析するソフトウェアを世界で初めて開発したんだ。

\*2 Facebook, Inc.の登録商標。世界最大のコミュニティ型ウェブサイト。



ビッグデータの分析はいろいろな可能性がある。  
いかに新しい情報を即座に活用できるかが鍵だね。

例えは  
マーケティング・スマートコミュニティ  
不正検知・市場予測  
経済予測・災害予測  
健康リスク予測...など

なるほど！

おじいちゃん  
元気かしら。

合病院

やっと病院に  
着いたね。

わざわざ遠い病院まで  
来てもらってすまん。う。

いや～足が悪いのもあって、このごろ病院に  
行くのが億劫だな。検診をサボっていたんじゃ。

はい☆  
映画をいろいろ  
入れてきたよ

もうダメじゃない。  
パチがあたってしまった

でもよく考えると、こういうことが社会的な課題なのかもね。  
高齢者の患者は増えるばかりで、遠方からの通院による身体的・金銭的な負担があるし、  
医師側も、在宅患者に往診するとなると時間的な負担が問題になるよね。

確かに。ニュース  
でもよく医師不足  
と言っているな。

患者

身体的・金銭的負担

通院

往診

時間的負担

医師

こういう問題で注目されているのが「遠隔医療」  
だね。NTTでもこれに向けた取り組みが行わ  
れているんだよ。

この分野の検討は技術面だけではダメ。  
有効性・安全性に関するエビデンス（実証成果）  
が欠かせない。NTTは一部の自治体・病院と  
連携した実証事業を既に始めているんだ。

どんな取り組み  
なのかしら。

NTT

自治体

病院

この実証事業では、病院、介護施設、薬局、在宅患者宅をネットワークで結んで、自動的に取得する  
健康情報と、過去の診療情報などを基に遠隔診療を実施するんだ。

患者宅・医療介護施設

<健康情報>  
血圧計データ  
血糖計データ  
体組成計データ  
など

自動取得

タブレット端末

モバイル網

インターネット

フレック  
光ネット  
ひかり電話

医療健康  
共通基盤

情報を一元  
管理  
・健康情報  
・診療履歴  
・服薬履歴

病院

・遠隔医療

介護施設

・病院介護ヘルパ  
の情報共有

薬局

・服用状況確認

安全で有効な  
仕組みに仕上がる  
といいのう。

今回紹介した技術・取り組みは  
NTTの研究開発成果のほんの一部。  
今後もサービスの向上や社会に貢献  
する研究開発を進めていくんだ！

もちろんNTTが  
開発した技術は  
国際標準に対応。  
他のメーカーの機器  
との接続などの拡張  
性、効率性にも配慮  
している。

# 第3四半期(累計)の決算概要

○営業収益は前年同期と比べ2,410億円(3.2%)増収の7兆7,837億円  
2期連続の増収

・ディメンションデータなどの海外売上が増加

○営業費用は前年同期と比べ2,969億円(4.6%)増加の6兆7,742億円

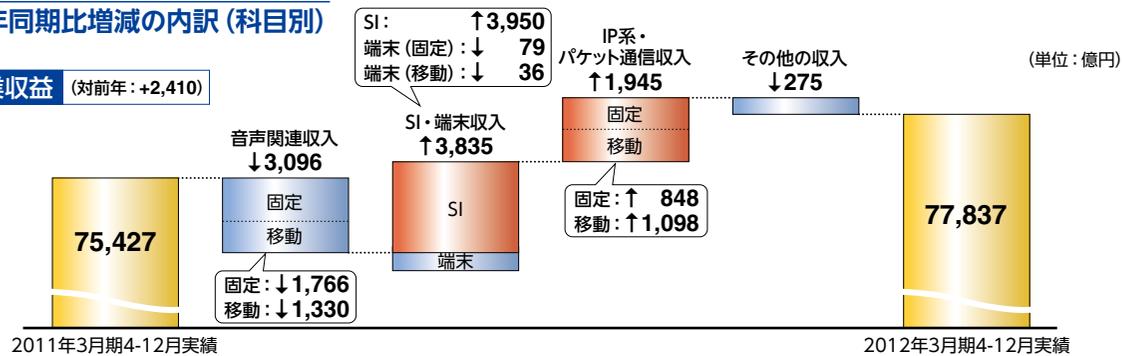
○営業利益は前年同期と比べ559億円(5.2%)減少の1兆94億円

・NTTドコモやNTT東日本、NTT西日本の減益による

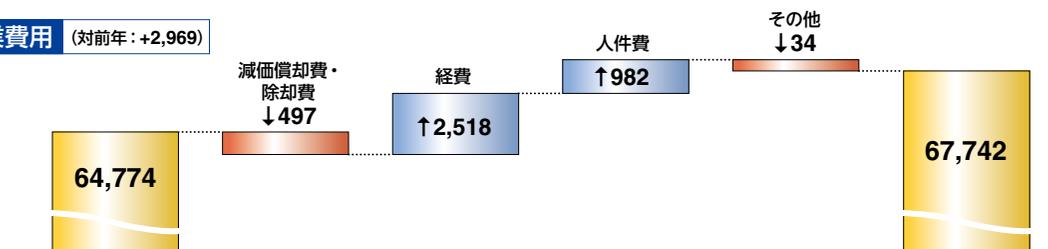
○法人税法などの改正に伴い当期純利益業績予想を変更  
5,450億円⇒4,650億円(前回比△800億円)

## 前年同期比増減の内訳(科目別)

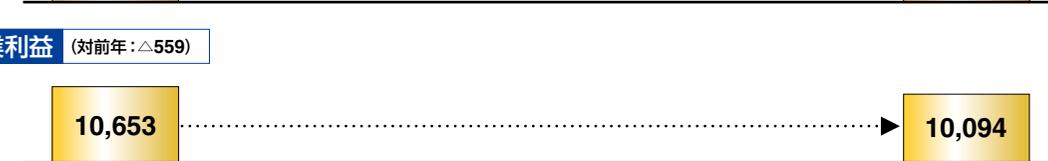
営業収益 (対前年: +2,410)



営業費用 (対前年: +2,969)



営業利益 (対前年: △559)



本誌に記載されている予想数値および将来の見通しは、不確定性・不確実性を含んでおり、実際の業績などにつきましては、今後の経済や情報通信業界内外の動向、新たな技術・サービスや料金水準などにより変動することがあります。従って、当社として、その確実性を保証するものではありません。

## 連結および主要な会社別損益状況

NTT連結とは、NTTグループ連結子会社764社、持分法適用会社101社の連結決算を表しています。

ここでは、主な5社として、NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズ、NTTデータ、NTTドコモを掲載しております。

(単位: 億円)

区分	NTT連結 *1	NTT東日本 *1	NTT西日本 *1	NTT コミュニケーションズ *1	NTTデータ *1	NTTドコモ *1
	NTT	NTT東日本	NTT西日本	NTT Communications	NTT Data	docomo
営業収益	77,837	13,798	12,476	7,285	8,887	31,742
(対前年増減額)	(2,410)	(△589)	(△567)	(△370)	(748)	(△350)
(対前年増減率)	(3.2%)	(△4.1%)	(△4.4%)	(△4.8%)	(9.2%)	(△1.1%)
(通期業績予想)	(105,400)	(18,950)	(16,870)	(10,030)	(12,000)	(42,400)
(進捗率)	(73.8%)	(72.8%)	(74.0%)	(72.6%)	(74.1%)	(74.9%)
営業費用	67,742	13,330	12,158	6,477	8,374	24,304
(対前年増減額)	(2,969)	(△329)	(△380)	(△526)	(694)	(△203)
(対前年増減率)	(4.6%)	(△2.4%)	(△3.0%)	(△7.5%)	(9.0%)	(△0.8%)
(通期業績予想)	(92,900)	(18,250)	(16,320)	(9,080)	(11,200)	(33,700)
(進捗率)	(72.9%)	(73.0%)	(74.5%)	(71.3%)	(74.8%)	(72.1%)
営業利益	10,094	467	318	807	513	7,438
(対前年増減額)	(△559)	(△260)	(△186)	(155)	(54)	(△147)
(対前年増減率)	(△5.2%)	(△35.7%)	(△37.0%)	(23.9%)	(11.8%)	(△1.9%)
(通期業績予想)	(12,500)	(700)	(550)	(950)	(800)	(8,700)
(進捗率)	(80.8%)	(66.8%)	(57.9%)	(85.0%)	(64.2%)	(85.5%)
税引前利益	10,109	*2 630	*2 401	*2 930	*2 471	7,441
(対前年増減額)	(△206)	(△256)	(△240)	(173)	(42)	(△46)
(対前年増減率)	(△2.0%)	(△28.9%)	(△37.5%)	(22.9%)	(9.8%)	(△0.6%)
(通期業績予想)	(12,400)	(850)	(650)	(1,050)	(730)	(8,740)
(進捗率)	(81.5%)	(74.2%)	(61.7%)	(88.6%)	(64.6%)	(85.1%)
四半期純利益	*3 3,592	223	184	525	163	*4 3,946
(対前年増減額)	(△991)	(△338)	(△299)	(102)	(△64)	(△494)
(対前年増減率)	(△21.6%)	(△60.2%)	(△61.9%)	(24.2%)	(△28.4%)	(△11.1%)
(通期業績予想)	(4,650)	(310)	(360)	(580)	(330)	(4,740)
(進捗率)	(77.2%)	(72.1%)	(51.1%)	(90.7%)	(49.6%)	(83.3%)

\*1 当社およびNTTドコモは米国基準(連結)、NTT東日本、NTT西日本およびNTTコミュニケーションズは国内基準(単独)、NTTデータは国内基準(連結)に準拠して作成しております。

\*2 NTT東日本、NTT西日本、NTTコミュニケーションズおよびNTTデータの税引前利益欄には、経常利益を記載しております。

\*3 NTT連結の四半期純利益は、当社に帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

\*4 NTTドコモの四半期純利益は、NTTドコモに帰属する四半期純利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

NTTグループの主なニュースをご紹介します。

10

October

- プライベートクラウド基盤「Lindacloud®」が「グリーンITアワード2011 経済産業大臣賞」を受賞 (NTTデータ) >>12ページ
- 外出先などからオフィスと同様のデスクトップ環境での仕事を可能にする「リモートオフィスソリューション」を提供開始 (NTTコミュニケーションズ)
- 小中学校向けクラウド型校務支援サービス「Bizひかりクラウド コミュニティ ひかり校務支援」を提供開始 (NTT西日本/NTTスマートコネクト)
- 新たな学習スタイルを創り出すコンテンツマーケット「Manavino (マナビノ)」を提供開始 (NTTラーニングシステムズ)

11

November

- 2015年度に向けた取り組み「中期ビジョン2015-スマートライフの実現に向けて-」を策定 (NTTドコモ)
- 光ブロードバンドサービス「フレッツ光」が700万契約を突破 (NTT西日本)
- 国内NO.1ケータイコミックサイト「コミックシーモア」がNTTドコモの「dメニュー」に対応開始 (NTTソルマーレ)
- スマートフォン向け新サービス「dメニュー」・「dマーケット」を提供開始 (NTTドコモ)
- NTTドコモ内の国内通話が24時間いつでも無料になる「Xiトーク24」など新たな「Xi」向け料金プランを提供開始 (NTTドコモ) >>13ページ



12

December

- スマートフォンやタブレット端末でビデオ作品を視聴できるモバイル専用プラン「ひかりTVもばいる」を提供開始 (NTTぷらら)
- 「わが家のかんたんタブレット」[光iフレーム2]を提供開始 (NTT東日本)
- 米州地域のグループ会社の統合・再編。国内では2012年4月からのコーポレートロゴデザインの変更を発表 (NTTデータ)
- Wi-Fiにより来訪者に対してオリジナルコンテンツを配信するなど、集客・サービス向上を実現する「光ステーション」を提供開始 (NTT東日本)
- 横浜市教育委員会が構築する日本最大規模の校務システム基盤に対してクラウドサービスを提供 (NTTコミュニケーションズ)
- 思い出のアルバムを安心・安全にクラウド上へ保管できる「思い出あんしん保管 for マイポケット」を提供開始 (NTTコミュニケーションズ)



独自の設計で省電力・低排熱。  
プライベートクラウド基盤「Lindacloud®」



### 独自開発のハードウェアにソフトウェアを搭載して提供

NTTデータは、ソフトウェアを核とする既存のシステムインテグレーション事業に加え、環境低負荷ハードウェアを投入することで、よりレベルの高い環境負荷低減を実現することを目的に、「Lindacloud」(リンダクラウド)事業を推進しています。  
「Lindacloud」は、独自に開発した省電力・低排熱のハードウェアに、用途に応じたソフトウェアをあらかじめ搭載したプライベートクラウド基盤です。2010年11月9日の販売開始以来、「簡単に導入できる」「省電力・省スペース」「万一の故障時も安心」といった特長がお客様から評価されています。  
今後も、クラウドの進展に伴って発生するビッグデータ\*の蓄積・高速検索・分析などを安価に実現する製品ラインナップをさらに充実させ、お客様に新たな価値を提供していきます。



プライベートクラウド基盤「Lindacloud」

「Lindacloud」の詳細はこちら



### 「グリーンITアワード2011 経済産業大臣賞」を受賞



経済産業大臣賞 受賞

「Lindacloud」は2011年10月3日に「グリーンIT推進協議会」が主催する「グリーンITアワード2011 ITの省エネ部門」にて「経済産業大臣賞」を受賞しました。  
グリーンITアワードは、優れた省エネ効果を持つIT機器やソフトウェア、サービス、ソリューション、もしくはそれらを活用して省エネ効果をあげた取り組みに対して授与される賞です。  
「Lindacloud」の受賞理由として、「既成概念にとらわれず、顧客のニーズに合わせた設計」「特定の用途に特化し必要な機能を絞り込んだ、シンプルで割り切った製品思想」「サーバの消費電力だけでなく、サーバ冷却にかかる電力をも削減」などが挙げられており、その独自性が高く評価されました。

◎グリーンIT推進協議会のWebサイト  
<http://www.greenit-pc.jp/topics/release/111003.html>

\* 様々な機器やセンサから収集されたデータなどの巨大な情報。

# 自己株式取得について

次世代高速通信「Xi」(クロッシィ)<sup>®</sup>が契約数を拡大。エリア、サービスのさらなる充実へ。

## 2011年度、全国へエリア拡大。さらに「Xi」の普及を推進

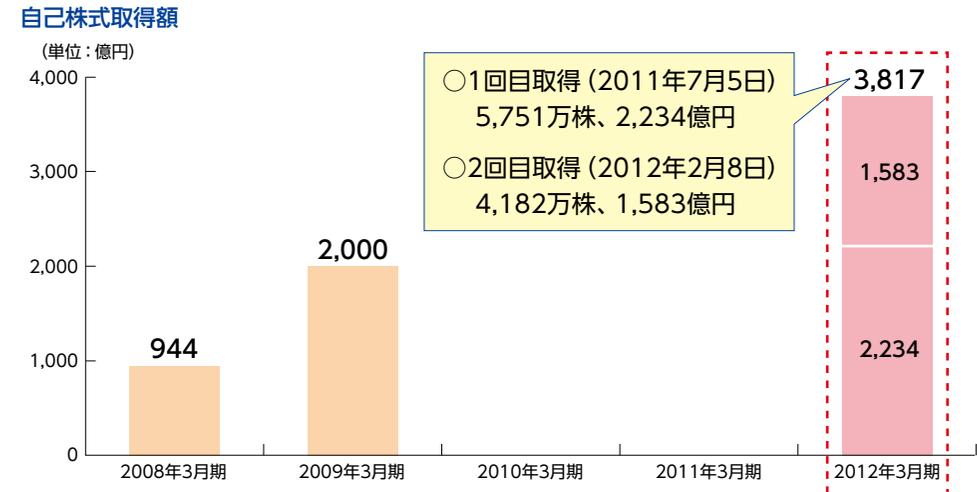
NTTドコモの次世代通信LTE\*1サービス「Xi」(クロッシィ)は、受信時最大75Mbps\*2という高速通信が特長で、Xiエリア外でもFOMAのエリア内であればFOMAと同様に利用が可能です。2010年12月に提供を開始して以来、Xi契約数は約114万(2011年12月末)と順調に拡大しています。エリア展開については、12月末時点で基地局数が約5,000局(人口カバー率約24%)に達し、2011年度中にはXiエリアを全国47都道府県へ拡大していきます。さらに、2012年度末には基地局数を約21,000局(人口カバー率約70%)に増やす予定です。

\*1 Long Term Evolutionのこと。高速・大容量、電波利用効率の高さ、低遅延などを特長とする通信方式で、携帯電話で光ファイバ並みの高速通信を実現する。  
\*2 受信時最大75Mbpsに対応しているのは、Xiエリア内の一部に限られます。



## 今期2回目の自己株式取得を実施

2012年2月8日に4,182万株、1,583億円の自己株式取得を行いました。2011年7月5日に実施した分と合わせ、今期(2012年3月期)の自己株式取得は総株式数9,933万株、総額3,817億円となりました。これにより、今期予定していた自己株式取得は全て完了いたしました。



### 「Xi」普及に向けた魅力的な料金プラン・割引サービス

●国内通話が24時間いつでも無料の「Xiトーク24」  
ドコモ同士の国内音声通話が24時間いつでも無料になる「Xiトーク24」を提供。  
Xi総合プラン契約者のうち、「Xiトーク24」利用者は約8割(2011年12月末時点)に達しました。

**Xiトーク24**  
1,480円/月

料金プラン タイプXiにねん 780円/月 通話料 21円/30秒	+	通話料割引サービス 「Xiカケ・ホーダイ」 24時間いつでも無料 700円/月
--	---	--

●月額利用料金が割引になる「Xiスタートキャンペーン」  
「Xi」のポケット定額サービスまたはXiデータプランの月額利用料金の上限額を2012年4月末まで1,575円割引、2012年5月以降は1,050円割引するキャンペーンを実施中。(2012年9月末まで)

●2台目はお得な「Xi(クロッシィ)<sup>2</sup>割キャンペーン」  
Xiスマートフォンをご利用のお客様が、2台目として「Xiデータプラン フラット にねん」(基本使用料 月々 5,985円)でXiタブレットをご利用の場合は基本使用料が月々2,980円、Xiデータ通信端末をご利用の場合は基本使用料が月々3,980円となるキャンペーンを実施中。(お申し込み期間は2013年3月末まで)

※表記の金額は全て税込です。

### 株主・投資家の皆様向けホームページのご案内

NTTでは、株主・投資家の皆様へIRホームページを開設しています。自己株式取得および配当金などの株主還元実績をはじめ、IRホームページでは、社長メッセージや各種手続きなどの情報も公開しています。是非ご活用ください。

株主・投資家の皆様向けホームページはこちら

<http://www.ntt.co.jp/ir/>

🔍 NTT IR

表紙の絵には「咲」という文字が隠れています。春は花が咲き、新しい出会いに笑顔が咲きます。





## 株式インフォメーション

## 株主名簿管理人の合併について

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社は、関係当局の許認可を前提に、住友信託銀行株式会社、中央三井アセット信託銀行株式会社と平成24年4月1日付をもって合併し、「三井住友信託銀行株式会社」として新たにスタートします。

株式に関する事務取り扱いは、平成24年4月1日(日)〔ただし、当日は株主名簿管理人の休業日につき実質上は平成24年4月2日(月)〕より、次のとおりとなります。

## 〔株主名簿管理人〕

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

## 〔各種お問い合わせ先・郵送物送付先〕

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**NTT株主様専用電話** : ☎0120-58-4400

**代表電話** : ☎0120-78-2031

※お問い合わせ先の住所・電話番号に変更はございません。

## NTT東日本・NTT西日本

「電話サービス」に関するお申し込み・お問い合わせは

(周番なし) **116** (NTT東日本: 午前9時~午後9時  
NTT西日本: 午前9時~午後5時  
年中無休 ※年末年始を除く)

「ブロードバンドサービス」に関する  
お申し込み・お問い合わせは

**0120-116116**

(午前9時~午後9時 年中無休 ※年末年始を除く)

## NTTコミュニケーションズ

電話・インターネットのサービスに関する  
お申し込み・お問い合わせは

コール・コール  
**0120-506506**

(午前9時~午後9時 年中無休 ※年末年始を除く)

## NTTドコモ

総合お問い合わせ先/各種ご注文受付  
(ドコモ インフォメーションセンター)  
ドコモの携帯電話からの場合

(周番なし) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合

**0120-800-000** (午前9時~午後8時 年中無休)

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

日本電信電話株式会社

